

承認番号	4038
研究課題名	腹腔鏡下胃切除術における手術手技と術後合併症との関連についての観察研究
研究の意義・目的	これまで胃外科臨床に従事してきた内視鏡外科学会技術認定医師による腹腔鏡下幽門側胃切除術の手術手技の信頼性の実証と、若手医師への技術の継承さらには教室における手術手技の再現性を高め安全性を担保することを目指した標準手術手順書（SOP）を作成し、術式を細分化します。次に、これまで当科で行ってきた腹腔鏡下幽門側胃切除術の手術ビデオ（既存資料）を検証し、パートにわけて完成度（出血、時間）をデータ化させていただきます。症例集積を行い、全体の手術時間、出血量、術後合併症の内容、術後血液データの推移などについてデータを整理し、術後短期経過（合併症発生など）との関連について検討します。
研究期間	倫理委員会承認後 ～2021年3月31日
研究対象者の範囲	平成18年（2006年）1月1日より平成31(2019)年12月31日までに大阪公立大学医学部附属病院の消化器外科で、胃癌の腹腔鏡手術を受ける入院患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録
利用者の範囲	自施設のみ
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	田中 浩明（大阪公立大学大学院腫瘍外科 講師）
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	手術前の説明時などに主治医にお伝えください。あるいは、大阪公立大学医学部附属病院消化器外科受付（担当；田中浩明 06-6645-3838)まで申し出てください。